

ネズミ駆除のための殺鼠剤の空中散布を行います

- ◆ 小笠原諸島世界自然遺産の価値として重要な陸産貝類（カタツムリ）へのネズミ食害を防止するため、兄島を中心に、殺鼠剤（ネズミを駆除する薬）の空中散布を行います。

散布計画

- ◆ 散布時期：平成28年8月6日～8月22日（予備含む）
- ◆ 対象地域：兄島、人丸島、瓢箪島及びその周辺の離岩礁
- ◆ 散布方法：兄島内を3エリアに分け、日替わりで3回ずつ散布
 - ヘリコプターによるスローパック剤（殺鼠剤入りの袋）の空中散布
 - ベイトステーション又はドローンによる補足散布
- ◆ 洋上回収：海に流出した殺鼠剤を回収するため、監視船による海上回収、父島の各ビーチにおける海岸の見回り、回収作業などを実施します。



効果測定及び自然環境への配慮

- ◆ 散布状況及びネズミ生息状況モニタリング
- ◆ 土壌・陸水・海水の事前事後の殺鼠剤残留成分モニタリング
- ◆ 非標的種への影響モニタリング
- ◆ 非標的種への環境影響の追加検証
- ◆ 兄島の淡水水系及びハンミョウ生息裸地からのスローパック剤除去
- ◆ 兄島における非標的種アカガシラカラスバトの一時捕獲・飼育・散布後の放鳥
- ◆ 父島の海岸における漂着殺鼠剤の見回り・回収

兄島・人丸島・瓢箪島の海岸及びその近くの海域利用者の皆様へ

殺鼠剤散布における注意と協力のお願い

- ◆ 兄島南西側（二俣岬～滝之浦～家内見崎）の海岸や人丸島、瓢箪島では、エリアを区切って朝8:20～10:00に散布します。散布日の散布時間の上陸はご遠慮願います。（北東側の海岸では、散布日は定めますが、散布時間を定めずに散布します）
- ◆ 海の利用には特に制限がありませんが、上記の時間には散布エリアの周辺では騒音や風等の影響が予想されます。
- ◆ 万一、ビーチにて殺鼠剤入りの袋が打ち上がったものや、海底に沈んでいる袋を発見された場合は、環境省にお知らせ頂き、小さなお子様やペットが誤って口にしないようにお気をつけ願います。
- ◆ 次頁に示す散布の暫定スケジュールは、天候等により変更の可能性があります。変更については、下記ウェブサイトの前日17時までに掲出予定です。
アクティブレジャー日記[関東地区] (<http://kanto.env.go.jp/blog/ogasawara/index.html>)

殺鼠剤（商品名：ヤソデオ）の特性

- ・ ノネズミ駆除剤として田畑や山林での使用が認められている農薬です。
- ・ ネズミなどが大量に食べるか、連日少量ずつ継続して食べると血が固まりにくくなり、内出血等を起こします。

空中散布される殺鼠剤入りの袋（スローパック剤）



緑色の防水紙の中に、穀物を主成分とし、ダイファシノンという薬を0.005%染み込ませた粒が5g入っています。



地上に落ちた殺鼠剤をネズミが1週間ほど継続して食べることで内出血を起こし死亡します。



水たまりなどに落下した袋は2週間ほどで袋内部に水が浸透し、水中に沈みます。海上では波浪の影響によりそれより早く水が浸透し、沈むことも想定されますが、浮いたまま父島の海岸などに漂着する可能性があります。

殺鼠剤の散布の暫定スケジュール

			散布エリア（内陸）	散布エリア（海岸線・離岸礁）
8月6日	土		南部エリア	なし
8月7日	日	入出港	中部エリア	兄島南部（滝之浦～家内見崎間は8:20-10:00）
8月8日	月		北部エリア	北東側の海岸（二本岩付近～二俣岬）
8月9日	火		なし	西側の海岸（二俣岬～岸の鼻）・人丸島・瓢箪島（8:20-10:00）
8月10日	水	入出港	南部エリア	なし
8月11日	木		中部エリア	兄島南部（滝之浦～家内見崎間は8:20-10:00）
8月12日	金		北部エリア	北東側の海岸（二本岩付近～二俣岬）
8月13日	土		なし	西側の海岸（二俣岬～岸の鼻）・人丸島・瓢箪島（8:20-10:00）
8月14日	日	入出港	確認飛行	
8月15日	月		南部エリア	なし
8月16日	火		中部エリア	兄島南部（滝之浦～家内見崎間は8:20-10:00）
8月17日	水		北部エリア	北東側の海岸（二本岩付近～二俣岬）
8月18日	木	入出港	なし	西側の海岸（二俣岬～岸の鼻）・人丸島・瓢箪島（8:20-10:00）
8月19日	金		補足散布（手撒き+空中散布の可能性あり）	
8月20日	土		予備日	
8月21日	日	入出港	予備日	
8月22日	月		予備日	

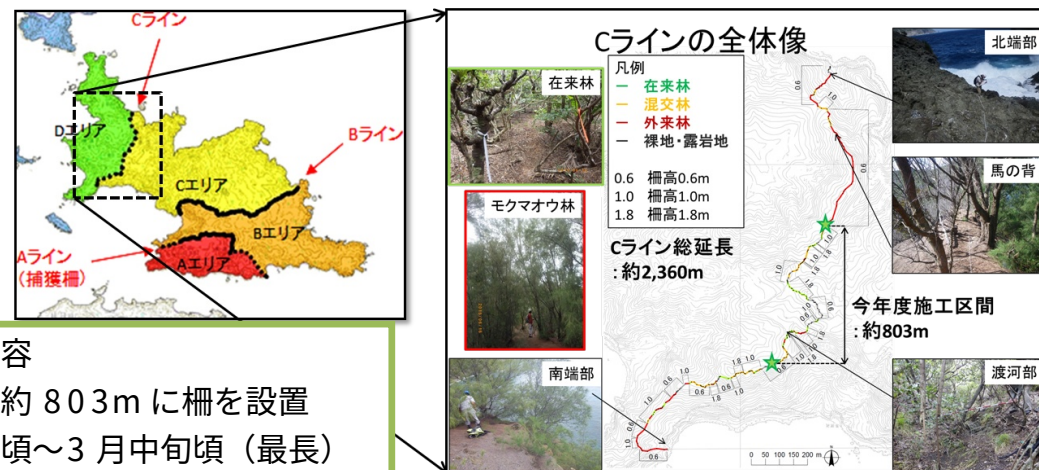
海岸付近で殺鼠剤の袋を発見された場合は、下記に御連絡下さい。

- ・ 環境省小笠原自然保護官事務所
- ・ 電話：04998-2-7174／土日夜間：090-1500-0742

兄島のアノール対策と現状視察

兄島でのグリーンアノール侵入防止柵設置工事について

小笠原支庁では、訪花性昆虫の保全および弟島へのグリーンアノール侵入を防ぐために兄島北西部に全長約 2.4km のアノール侵入防止柵(通称：C ライン)を今年度から設置します。



①ヘリコプター運搬時の道路の利用制限

ヘリコプターの二見港到着および発着時に、二見港と父島分遣隊間の車道を 1 時間程度利用制限させていただきます。

②ヘリコプターでの資材運搬の騒音等について

予備日を含めて 6 日程度飛行を行う予定です。集落近くを飛行することはございませんが、この期間中騒音等が発生致します。

島民の皆様にはご不便をお掛け致しますが宜しくお願い申し上げます。

兄島視察会（7/17）を実施しました

◆ 兄島における各機関の対策について知っていただくため、村民向け視察会を行いました。

兄島でのグリーンアノールやネズミ対策の現場の視察のほか、講師から陸産貝類や水生生物のレクチャーを受けました。また、外来植物ランタナ駆除の体験も行いました。



アノール防除柵の説明



陸産貝類の説明・観察



ランタナの駆除作業

○参加者からの意見・感想（一部をご紹介します）

- ◆ 台風が多い場所なので、柵の維持が心配。壊れては直してのいたちごっこは大変。
- ◆ 行政と村民、NPO などとみんなで試行錯誤しながら、一番良い方法で兄島を守ることができると思う。その方法を他の島にも使えとよい。

世界自然遺産地域登録 5 周年記念イベント・セミナーの開催

「世界自然遺産地域ネットワーク協議会」が立ち上げられました

6 月 26 日に新宿で開催された「小笠原諸島 世界自然遺産地域登録 5 周年イベント」において、小笠原だけではなく、国内の他の 3 つの世界自然遺産地域（知床、白神山地、屋久島）の、7 つの関係町村の町村長らが集まり、関係町村が継続的に情報交換し、共通の取組を進めていくために、「世界自然遺産地域ネットワーク協議会」を立ち上げ、今後も連携を深めていくことを宣言しました。



ネットワーク協議会の立ち上げ

◆「世界自然遺産地域ネットワーク協議会」が目指すもの◆

世界自然遺産地域を有する町村が連携し、次の活動に取り組みます。
 また、取り組みを推進するための支援を各主体に要請します。

- (1) 日本の世界自然遺産地域の価値と魅力を発信
- (2) 世界自然遺産地域の社会的な環境保全活動の推進
- (3) 世界自然遺産を活かした地域振興の検討



5 周年イベント
アカギの箸づくりの様子

世界自然遺産登録 5 周年記念セミナーの開催予定

◆ 8 月は「進化と変化を続ける森の物語」と題して、植物をテーマに開催します。

日時・場所	テーマ・講演者
8 月 25 日(木) 19 時～ @父島ビジターセンター 新館ホール	・講演：父島列島の乾性低木林の成り立ちと魅力 駒澤大学 清水 善和 教授 ・現場からの取組紹介
8 月 26 日(金) 19 時～ @村役場母島支所大広間	・講演：小笠原の植物の由来と分化 首都大学東京 加藤 英寿 助教 ・現場からの取組紹介

この他にも、10 月・11 月には国内外の有識者を招いた記念フォーラム、現場視察会や外来種駆除ボランティア等の開催を予定しています。
 皆様のご参加をお待ちしております。

◆お問い合わせ先◆

本チラシに関するお問い合わせは、下記のお問い合わせ先にご連絡ください。

環境省小笠原自然保護官事務所

Tel/Fax：04998-2-7174/7175

E-Mail：RO-OGASAWARA@env.go.jp

林野庁小笠原諸島森林生態系保全センター

Tel/Fax：04998-2-3403/2650

東京都小笠原支庁土木課

Tel/Fax：04998-2-2167/2302

小笠原村環境課

Tel/Fax：04998-2-3111/3222

詳しい情報は下記のホームページをご覧ください。
 小笠原自然情報センターHP：<http://ogasawara-info.jp/>